

デザイン 科	科目名	選択 B(他) 色彩基礎	担当者	小波津 真理子
履修学科	情報技術科、インテリア科			
履修学年	第 2 学年	履修単位	2 単位	
概要及び目標	色の本質や人に与える影響、色の表し方や配色方法などを学び、各科の専門教科や課題研究、進学や就職に活かすことを目標とする。			
評価規準及び方法	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩に関する知識と技術を習得させ、それぞれの専門教科に応用する能力と態度を育てる。 ・色の役割、色の心理効果、色の表示方法、色彩調和と配色、光と色、目の仕組みと色知覚、測色、混色と原色、文化と色彩について理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期考査などによる評価 2. 調べ学習や発表、実習等による評価 			
使用教科書及び教材	<ol style="list-style-type: none"> 1. カラーコーディネーター3級 完全攻略 テキスト&問題集を副読本として使用。 2. ファイル（一人一冊ずつ）とワークシートを配布します。 			
その他留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 考査では、授業で配布されたワークシートを毎回しっかり記入し内容を暗記することがポイントです。 2. 調べ学習や発表等では「発見しよう！関心を深めよう！」とする一生懸命な態度が重要です。 			

学習計画

月	単元名	学習内容	備考
4	色の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・色の役割とカラーコーディネーション ・色の物理的・心理的側面 	授業態度の観察
5	色の心理効果	<ul style="list-style-type: none"> ・色の連想効果と象徴性・色彩感情効果 	中間考査
6	色の表示方法	<ul style="list-style-type: none"> ・色を表示し、伝える方法・カラーオーダーシステム 	期末考査
7	色彩調和と配色	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩と心理・色彩と視覚・色彩と錯視 	ファイル提出
8	夏期休暇		
9	光と色	<ul style="list-style-type: none"> ・光と色の関係 ・光の現象 ・光源の種類 	授業態度の観察
10	眼のしくみと色知覚	<ul style="list-style-type: none"> ・眼と脳の構造とその働き ・色覚の多様性・色の感覚と知覚 	中間考査
11	測色	<ul style="list-style-type: none"> ・測色の方法 ・色の三原色を使った表色系 	期末考査
12	混色と原色	<ul style="list-style-type: none"> ・混色 ・混色と色再現 	ファイル提出
1	日本における文化と色彩	<ul style="list-style-type: none"> ・神話時代 ・飛鳥時代 ・奈良時代 ・平安時代 ・鎌倉時代 ・室町時代 ・桃山時代 ・江戸時代 ・明治・大正時代 	授業態度の観察
2	商品にみる色彩調和の変遷	<ul style="list-style-type: none"> ・1940年代から1960年代ごろの色彩（カラーステータスの時代） ・1960年ごろから1970年代初期の色彩 ・1970年代の色彩（二元化の時代） ・1980年代の色彩（濁色から清色の時代へ） 	学年末考査 ファイル提出
3	印刷媒体と液晶画面における色の扱いの違い	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷（CMYK）の色と液晶（RGB）の色の取り扱い ・illustrator、Photoshop における設定 ・解像度、ビット深度について 	授業態度の観察